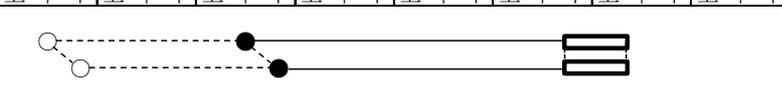


研究レポート No.767 岩手県農業研究センター

たまねぎ春まき作型の栽培法

【 1 成果概要】

作型	品種	2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			適応地域	栽植距離	単収
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
春まき	もみじ3号																									県中北部	畦幅150cm 24cm×12cm 4条(22,222株) マルチなし	5,000kg /10a

○: 播種 ●: 定植 —: 生育期間 □: 収穫期間

- 春まき作型には、秋まき中晩生品種‘もみじ3号’が最も適します。収穫期は7月下旬～8月上旬となり、単収 5t/10a が期待できます。また、定植時期は4月中下旬が適しています (図1、図2)。
- マルチ被覆を行うと腐敗球や裂皮球が増加するため、マルチなし栽培が適します (図1)。
- 栽植距離は畦幅 150cm の4条植え、条間 24cm×株間 12cm として下さい。
- 収穫時期は過半数が倒伏した日の1～2週間後が適します。

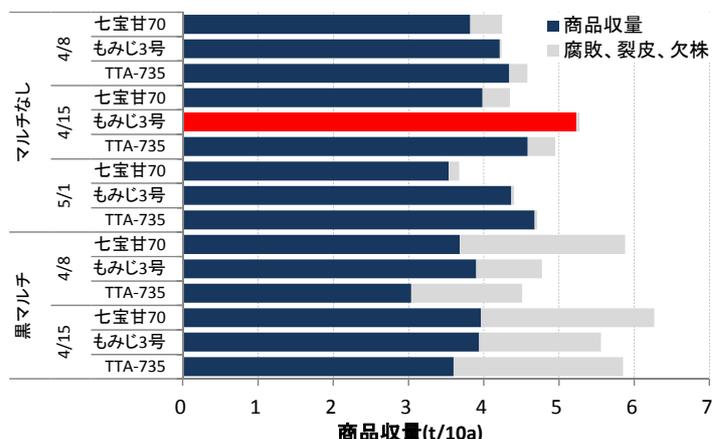


図1. マルチなし‘もみじ3号’の4/15定植の収量が高い



図2. 適品種‘もみじ3号’

【 2 効果】

中山間地域の新品目として所得の向上に寄与します。

【 3 留意事項】

- ‘もみじ3号’は貯蔵性があり、従来の秋まき品種に比べると加熱調理に適します。
- 育苗方法については研究レポート No. 768 を参照ください。
- 試験は基肥 N-P₂O₅-K₂O: 15-30-15kg/10a とし、追肥は行っておりません。
- 条間 24cm×株間 12cm は、全自動移植機 (OPK-4) にも対応可能です。
- マルチなし栽培のため、除草剤の体系処理が必要です (研究レポート No. 769 参照)。
- 病害虫防除対策については試験中ですが、ネギアザミウマによる食害や細菌病 (軟腐病、りん片腐敗病)、べと病等による被害が懸念されることから、5月下旬以降 7～10 日間隔で薬剤防除を実施してください。
- 収穫後は収穫物を野菜コンテナに入れ、遮光したビニルハウスに積み、通風乾燥してください。
- 詳細は、「平成 26 年度試験研究成果たまねぎ春まき作型の栽培法」をぜひご覧ください。

【 4 適応対象】

- 地帯 県中北部
- 対象者 営農指導者 (農業普及員等)